

オルドス市ハイバグシュ区中核エリア

内モンゴル自治区オルドス市の歴史は古く、約 7 万年前には河套（かとう）人がこの地で生活していたと考えられています。チンギス・ハンの永眠地としても知られ、市の南部にあるチンギス・ハン陵には多くの観光客が訪れます。また、豊富な鉱物資源に恵まれており、石炭埋蔵量は中国全土の約 1/6、天然ガス埋蔵量は中国全土の約 1/3 を占めています。

世界の地域から

内モンゴル自治区オルドス市（中国）

恩格貝生態示范区鳥瞰図

恩格貝（オンカクバイ）生態モデル区

中国の八大砂漠の1つであるクブチ砂漠に位置する恩格貝（総面積約 2 万 ha）は、遠山正瑛・鳥取大学名誉教授をはじめとする日本からの多数のボランティア等による植林活動によって緑化に成功し、中国政府の砂漠緑化のモデル地区となっています。過去 30 年間で計 815 回、約 19 万 7,000 人の人々が植林のために当地を訪れ、計 389 万 8,735 本の苗木を植えてきました。